

平成30年度 えびの市立真幸小学校 学校評価

I 学力向上

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現状	課題	改善点	評価	意見
1 学習指導の充実 (1) 授業スタイルの形成	3. 7	3. 3	3. 6	○ 校内研修において、教員があまり話さない授業の構築を目指している途中である。このことによって、「主体的・対話的で深い学び」の授業の具現化を図っている。	○ 一人一人の学習の理解度や取組に個人差があり、基礎的・基本的な学習内容の習得が必要不可欠である。そのためにも、児童が自ら学ぶ姿勢を育む必要がある。	○ 個人思考と集団思考を適切に組み合わせることによって、互いに高め合う学習集団を育成するよう指導の充実を図りたい。	3. 5	○ 全国学力・学習状況調査やみやざき学習状況調査の平均点を見ても、学習内容がしっかりと身に付いてきていると思う。 ○ 真幸小の先生方には、すべての子どもたちに対してよく指導をいただいている。感謝の言葉しかない。
1 学習指導の充実 (2) より効果的な学習形態等	3. 6	3. 3	3. 2	○ 実物投影機や視聴覚教材を用いて教材教具の工夫をしたり、学習形態の工夫をしたりして、指導内容の定着を目指している。	○ 一人一人の学習の理解度や学習意欲にかなりの個人差があり、指導方法や指導体制等の充実した取組について、工夫・改善の必要がある。	○ 一人一人の実態を十分に把握し、個に応じた指導の在り方、指導体制について共通理解を図り、共通実践を行えるようにしていく。	3. 5	
1 学習指導の充実 (3) 基礎基本の定着と活用力の向上	3. 6	3. 5	3. 4	○ 真幸タイムを活用して、継続して基礎基本の習得と活用力の向上を図っている。	○ 真幸タイムを実施するときには、活用力を試す問題や学力テストの問題などに取り組みさせているが、設定できる回数が少ない。	○ 真幸タイムの効果的な運用を図るために、年間実施計画を作成するとともに、複数指導体制で実施する。	3. 5	
2 家庭学習の定着 (1) 家庭との連携	3. 8	3. 4	3. 3	○ 学級懇談等で「家庭学習の進め方」を配付し、協力をお願いした。また、児童には具体的に指導を行い、家庭学習の充実を図った。	○ 家庭学習の取組には個人差があり、その結果、学習内容の定着度に差が生じている。	○ 学校での学習と家庭での学習が連動することにより、学力が定着する。個に応じた家庭学習の在り方の検討が必要である。	3. 5	○ 家庭養育の取組に期待したい。(朝ご飯、寝る時刻など) ○ 少しずつではあるかもしれないが、子どもたちは自分のこととしてがんばっているように感じる。 ○ 自宅での自学や宿題をしっかりと進んでする余蘊あつてきている。本当にありがたい。
2 家庭学習の定着 (2) 家庭学習の工夫改善(読書等)	3. 6	3. 4	3. 2	○ 本年度から午前5時間制に移行したので、読書タイム(読み聞かせ)は、1年のみの実施となっている。図書委員会を中心に、読書活動の推進を図っている。	○ 読書に積極的に取り組む子どもとそうでない子どもの差がはっきりと現れてきている。	○ 図書室の設営や、読書記録の在り方などを見直すなど、本を借りて読みたいくなるような仕掛けを用意するなどの必要がある。	3. 0	○ 読書指導について、学校としては努力していると感じている。保護者もそれは理解しているように感じるが、なかなか心の栄養までの余裕がないのかもしれないが、期待したい。 ○ 高学年になるにつれ、読書の習慣が少なくなったと思う。家庭でも呼びかけて積極的に本を読ませたい。
意見 (保護者の自由記述欄)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新任教師への指導が不十分だと感じる。保護者が不安に思うことが多々あったので、指導にもう少し力を入れてほしい。 ○ 頑張った宿題に対して、丸も付けないでノートを返され、ショックを受けていた。 ○ 授業参観で、子どもたちが苦手な算数の授業をあまり見たことがない。○ 春休み、冬休みの宿題が少ない。 ○ 運動会の内容が踊りとリレーしかないような気がする。もう少し楽しめるものがよい。 ○ 水筒持参をお願いしたい。 ○ 冬場は寒すぎて鉛筆を上手く持てない。カイロ禁止、ネックウォーマーも外さないといけないし。 ○ 家庭訪問の時間が短すぎる。 ○ 夏休みの個別面談は全員対象にしてほしい。 ○ 学習発表会を行ってほしい(他の学年の発表を見たい)。 ○ ノートの使い方がもったいない。 							

II 心の教育・生徒指導

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現 状	課 題	改善点	評価	意 見
1 望ましい人間関係 (1) 丁寧な言葉遣い	3. 5	3. 4	3. 5	○ 児童へのアンケート結果から、丁寧な言葉遣いについては、学年が上がるにつれてきちんとできていないことが判明した。	○ 保護者は、まあまあ良くできているととらえているが、教員は児童と同じように丁寧でないと感じている。	○ 言葉遣いの指導は、授業中や普段の生活の中で、丁寧な言葉遣いが飛び交うような学級経営をしていく必要がある。	3. 5	○ 時に、「えっ!」と思うような言葉を聞くこともあるが、全体としてそれほど悪いとは思わない。少しずつではあるがよくなってきているのではないかと考える。 ○ 子どもたちの言葉遣いはよいと思う
1 望ましい人間関係 (2) 人権感覚	3. 6	3. 2	3. 6	○ 一部の児童の中に、友だちが傷付く言葉を言うことがあるため、各学年の実態に応じて、日常指導や学級活動、道徳の時間の指導を関連させながら行っている。	○ 「ちくちく言葉」「ふわふわ言葉」のことについて全校児童に対し指導を行ったが、日頃の児童の言動を把握し、その場でのチャンス指導を全職員でしっかりと行う必要がある。	○ 各学年の実態に応じて全教育活動を通して、指導を充実・徹底させるとともに、参観日(12月)を人権週間と関連を図り、参観授業を行い、児童・保護者に対し啓発を行う。	3. 5	○ 自分の感情を言えることが大切である。 ○ 子どもたちの帰る時の様子を見てみると、「仲よく、優しい感」を感じる。 ○ 高学年の子どもたちは、誰とでも仲よく遊んでいると思う。大変よいことだと思う。
2 基本的な生活習慣 (1) 規範意識	3. 6	3. 5	3. 6	○ 年度当初に、学校生活の約束事を提示し、守るべきまきを明らかにして、児童が自らを律しながら生活できるようにした。	○ 児童の規範意識の高まりが見られ、集団、社会生活を送る上で、ルールを守ることの必要性を認識できるようになってきている。	○ 生活のまきりは、各学年の発達実態に応じて、集団生活を営む上で必要不可欠であることの共通理解を図り、共通実践の徹底を図る必要がある。	3. 5	○ いろいろとあまり分からないが、守っているように感じる。下校時の様子などを見るときちゃんと並んで帰っている。 ○ 朝の車での送りは大変多いと思う。子どもとともに保護者もまきを守るようにしてほしい。
2 基本的な生活習慣 (2) 具体的な取組事項	3. 7	3. 4	3. 6	○ 「あいさつ運動」を全校的に取り組んできた成果が出ている。いろいろな方からお褒めの言葉をいただくようになってきている。	○ 元気よく心のこもった挨拶ができる児童と、そうではない児童が見られる。	○ 1の付く日を「あいさつ運動の日」と位置付けて実践してきて、定着化が図られてきている。立ち止まってのあいさつや心を込めるなど質的な充実に図るなど、今後も工夫・改善が必要である。	4. 0	○ あいさつについてはいろいろである。子どもから「おはようございます」とあいさつしてくる子もいれば、こちらがしてからあいさつをすとか。それでも、ちゃんとあいさつを返してくれるのでうれしいし、よいと感じる。 ○ 朝の「あいさつ運動」での大きな声は本当に気持ちのよいものである。(たまに、やけくそのように聞こえる子どももいるが)
意 見 (保護者の自由記述欄)	○ 気持ちのよいあいさつをしてくれている。 ○ 意地悪(ちょっかい)をしているのをたまに見かける。悪質な感じを受けるときもある。 ○ 横断歩道で車を止めると、頭を下げってくれるので、とても気持ちがいい。							

III 連携の推進

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現 状	課 題	改善点	評価	意 見
1 教育方針の伝達	/	3. 3	3. 1	○ 学校の様子や教育方針等の伝達については、PTA会員を中心に、学校文書や会合等において機会あるごとに説明するようにしている。	○ 学校の様子や教育方針等を伝達する上で、全家庭に周知できているかを把握できないことが課題である。	○ PTA総会や参観日の資料等で毎回のようにお知らせを配付し、学校行事や児童の様子等を発信し続けていくようにしたい。	4. 0	○ ホームページの活用も含め、ことあるごとに情報を発信してほしい。 ○ 安心・安全メールでの情報発信もあるので、活用してほしい。
2 家庭との連携	/	3. 3	3. 5	児童の体調不良のことや人間関係上のトラブルなどについては、時間を空けずにできるだけ早く対応するようにしている。	保護者の理解と協力を得るためにも、日頃から連絡帳や電話等での情報交換を積極的に行い、信頼を得ておく必要がある。	家庭生活で児童が置かれている状況を、日記や児童との会話によって把握するように努め、積極的な個別対応ができるようにしていく。	4. 0	○ 子どもたちの家庭学習への取組状況の見届けを保護者が確実に行うようにする。そして、その結果を、連絡帳やファイル等を使って家庭から担任へ連絡できるシステムを構築していくと、家庭学習の充実が図られる。
3 情報の発信・啓発	/	3. 4	3. 3	学校のホームページでは、学校の様子は都度更新を行っているとともに、毎月発行している保健便り等、学校の様子やお願い等を載せ、積極的に発信している。	全ての保護者の方が確実に見られているか確認できていないが、保護者のニーズ等も考慮したものに工夫していく必要がある。	保護者のニーズやその時期に応じた話題を提供して充実したものに工夫していく。	3. 0	○ 地域の回覧板で必ず回ってくるので、学校からの情報発信はされているが、回覧板をみんなが見ているかという点、それが問題である。他の方法（安心安全メールやホームページ等）もあるようなので、いろいろな手段を駆使して情報を発信してほしい。
意見 (保護者の自由記述欄)	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTAバレーボール大会ではなく、「交流会」目的の、親子で参加できるものでも良いのではないかと。(人が集まらない、いつも同じ人だけが参加している。) ○ 緊急時の避難訓練で、アリーナに車をとめて親が迎えに行くのはいかがなものか。 ○ プール清掃で出欠をとらないのはなぜか。終わる頃にやってくる人もいる。 ○ 集団登校にはならないのか。 							